

## 福岡県の教育施策に関する指標の現状

「平成27年度福岡県教育施策実施計画」では、「個性や能力に富み、学力・体力を備えた子どもを育てる」に係る指標として、次の3つを目標値として設定している。

指標	指標の概要	現状値	目標値
①子どもの体力向上	体力合計点の県平均値	○小5男子 全国平均以上 ○小5女子 ○中2男女 全国平均以下 (H27年度)	<b>全国平均以上 (H28年度)</b>
②子どもの運動習慣の定着	学校の体育の授業以外で、運動やスポーツをする児童の割合	男子 96.7 % 女子 94.8 % (H27年度)	<b>100%をめざす (H27年度)</b>
③小学校における体力向上に係る取組の推進	小学校において、学校全体で児童の体力向上や、運動習慣を確立するために、体育の授業以外の時間に取組を行っている割合	85.4 (H27年度)	<b>全国平均以上 (H27年度)</b> ※全国平均 89.3 % (H27)

指標①～③については、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」で判断するものである。

本年度について、指標①は、

- 小学校男子の県平均値が、本調査開始以来初めて全国平均値を上回った。
- 本年度の小学校男女及び中学校男女すべての県平均値が、これまでの調査における最高値となった。
- 小学校女子及び中学校男女は全国平均を下回っているが、県平均値と全国平均値の差は、本年度が最小値となった。

指標②については、

- 男子は、昨年度と比較して0.2%下がったが、女子は0.4%向上した。

指標③については、

- 取り組んでいる学校の割合は横ばい状態であり、依然全国平均を下回っている。

## 福岡県体力向上推進委員会からの提言を受けて

福岡県体力向上推進委員会から以下に示す4つの提言が示された。そこで本調査結果を踏まえ、4つの提言に係る下記の具体的取組事例等を推進していく必要がある。

### 提言1 市町村教育委員会・学校の体制整備を

- 各市町村や学校の結果を継続して分析し、データを蓄積・検証する仕組みづくり
  - ・校内研修会の実施 など
- 各市町村や学校の結果や課題、それに応じた施策等を共有化するための組織づくり
  - ・市町村での共有化、校内での共有化、校種間での共有化 など
  - ・地域や他機関との連携

### 提言2 教員の実践的指導力の向上を

- 体育科・保健体育科学習に関する指導方法の工夫・改善
  - ・運動が苦手な子どもに対する個に応じた支援や指導方法の工夫（技能、意欲等の面から）
  - ・すべての子どもが「運動の楽しさ」を味わえる授業づくり
- 新体力テストの適切な実施方法等の習得
  - ・適正な測定方法等に関する共通理解を促す校内研修等の実施（県作成資料「新体力テストの実施内容と方法について」参照）
- 運動部活動指導の充実
  - ・生徒の多様なニーズに応じた活動内容の工夫（入部していない生徒も含む）
- 子どもの体力向上広場HPの効果的な活用による指導力の向上
  - ・授業の充実、授業以外の取組、家庭や地域との連携等に関する事例の紹介

### 提言3 学校の体力向上に係る継続的な取組を

- 各学校の年間指導計画への体力向上プランの適切な位置付け
  - ・計画的かつ継続的な「1校1取組」運動の内容の充実
  - ・「スポコン広場」（地区大会を含む）への積極的な参加や「体力アップシート」を活用した実践の具体化
  - ・「体力アップ福岡運動」の実践（県作成CD参照）
  - ・「体力アップ福岡モデル」（平成27年3月 体育研究所）の活用
- 継続的な検証改善サイクルの確立
  - ・新体力テスト結果の速やかな分析とその後の取組の改善

### 提言4 基本的な生活習慣等の改善を

- 学校・家庭・地域が連携した取組の推進
  - ・学校保健委員会やPTA組織との行動連携 など
- 生活習慣等の改善について家庭との協力
  - ・学校だより、保健だより等による健康三原則等の啓発 など
- 総合型地域スポーツクラブ等との連携による運動機会の確保
  - ・総合型地域スポーツクラブの広報による児童生徒の参加推奨
  - ・運動部活動における外部指導者の招聘 など